

日本簿記学会ニュース

No. 34:12 / 2002

《大会の経過報告》

第18回全国大会は2002年9月6日(金)から7日(土)に神戸大学(準備委員長 中野常男氏)にて開催されました。なお、詳しい内容は本紙大会記をご覧ください。

《大会・部会のご案内》

第19回関西部会は、2002年5月中旬に同志社大学(準備委員長:瀧田輝己氏)にて、第19回関東部会は、2002年6月21日(土)(13:00より)に早稲田大学(準備委員長:長谷川茂氏、論題「簿記検定試験制度と簿記教育」)にて、第19回全国大会は、2002年8月29日(金)・30日(土)・31日(日)に高崎商科大学(準備委員長:萩野雅司氏、統一論題「日本の近代化と簿記」)にて各々開催される予定です。

《第18回全国大会正会員出席者状況》

第18回全国大会への正会員出席者の状況は以下の通りでした。

	全 体	大学関係者	高等学校	専門学校	職業会計人	その他
参加者数	207名	174名	14名	9名	7名	3名
比 率	100.0%	84.1%	6.8%	4.3%	3.4%	1.4%

《役員選挙・役割決定について》

日本簿記学会第18回全国大会において、新役員が次のように決定しました。

(五十音順)

会 長 戸田 博之(神戸学院大学)

理 事 【高校関係】

玉川 弘文(東京都立桐ヶ丘高等学校)研究担当

副会長 井原 理代(香川大学)

【専門学校関係】

森川八洲男(明治大学)

細谷 秋男(全国経理学校協会)会員担当

【職業会計人関係】

理 事 【大学関係】

小早川増雄(公認会計士)学会ニュース担当

安藤 英義(一橋大学)大会・部会担当

監 事 笠井 昭次(慶應義塾大学)

氏原 茂樹(東京都立短期大学)ホームページ担当

藤永 弘(札幌学院大学)

興津 裕康(近畿大学)大会・部会担当

河崎 照行(甲南大学)ホームページ担当

幹 事 泉 宏之(横浜国立大学)

武田 安弘(愛知学院大学)学会誌担当

桑原 正行(香川大学)

徳賀 芳弘(京都大学)学会ニュース担当

高須 教夫(神戸商科大学)

中野 常男(神戸大学)会務担当

千葉 啓司(上武大学)

新田 忠誓(一橋大学)会務担当

菱山 淳(西武文理大学)

松原 成美(専修大学)研究担当

山田 庫平(明治大学)会員担当

横山 和夫(東京理科大学)会計担当

《平成14・15年度研究部会のテーマおよびメンバー》

平成14・15年度研究部会のテーマおよびメンバーが、さきの総会にて下記の通り承認されました。

簿記理論研究部会 テーマ：「偶発事象の簿記処理」

メンバー：部会長 / 山下寿文（佐賀大学） 委員 / 春日克則（宮崎産業経営大学）、木戸田力（佐賀大学）、園 弘子（萩国際大学）、櫻田 護（山口大学）、井上善文（福岡大学非常勤）、池田幸典（帝京大学）、異島須賀子（九州情報大学）、潮崎智美（広島市立大学）

簿記実務研究部会 テーマ：「工業会計システムの現状と課題」

メンバー：部会長 / 山田庫平（明治大学） 委員 / 大倉 学（明治大学）、小田康治（長岡大学）、坂口 博（城西大学）、崎 章浩（明治大学）、鈴木研一（明治大学）、建部宏明（川口短期大学）、長屋信義（産能大学）、広原雄二（上武大学）、山浦裕幸（千葉経済大学）、吉村 聡（流通経済大学）、飯島康道（愛知学院大学）、大槻晴海（諏訪東京理科大学）、三木僚祐（明治大学大学院）

簿記教育研究部会 テーマ：「勘定科目に関する研究」

メンバー：部会長 / 新田忠誓（一橋大学） 委員 / 菊谷正人（国土館大学）、石山 宏（大原簿記学校）、梅原秀継（埼玉大学）、岡村勝義（神奈川大学）、粕谷和生（横浜市立港商業高等学校）、加瀬きよ子（東京都立池袋商業高等学校）、佐々木隆志（一橋大学）、徳田行延（立教大学非常勤）、長岡美奈（大原簿記学校）、野村 裕（野村裕税理士事務所）、古庄 修（亜細亜大学短期大学部）、瓶子長幸（専修大学）、前川道生（立教大学非常勤）、松原成美（専修大学）、山本 巖（山本巖公認会計士事務所）、横山和夫（東京理科大学）、依田俊伸（国土館大学大学院）、

簿記教育研究部会 テーマ：「簿記教育におけるE-Learningの有用性に関する研究」

メンバー：部会長 / 木本圭一（関西学院大学） 委員 / 工藤栄一郎（熊本学園大学）、柴 建次（関西大学）、徳賀芳弘（京都大学）、福浦幾巳（中村学園大学）、松本敏史（同志社大学）

《会則・役員選挙内規の改正について》

さきの総会にて会則・役員選挙内規の改正が下記の通り承認されました。

会則

《改正前》

《改正後》

(附則)2. 本会の事務局は、当分の間、以下の所に置く。
東京都千代田区神田駿河台1-1
明治大学研究棟 837 研究室内

(附則)2. 本会の本部は、当分の間、明治大学内に置き、事務連絡所を以下の所に置く。なお、会員からの当学会への事務連絡は、この事務連絡所宛に行うこと。

〒101-0021 東京都千代田区外神田 5-1-15
株式会社 白桃書房 内

役員選挙内規

《改正前》

《改正後》

(付則)役員改選のための第1回目の選挙(第15回全国大会)に当たっては、次の経過措置を設ける。

(1)理事枠について 大学以外の所属機関種別の大会出席者の数が少ないため、大学以外の所属機関種別の理事割当数(各4名)を充足できないことが予想される。そのため、次の措置を講ずる。

第12回全国大会(神戸学院大学)および第13回全国大会(専修大学)の通算出席者合計(430名)を基礎に次のような調整を行う。大学からの出席者合計は349名(81%)、それ以外の所属機関種別の出席者合計は81名(19%)となるので、大学の出席者割合81%を100%として換算した場合の他の機関種別の割合19%は24%と換算される。したがって、他の機関種別の理事割当数は、3名と換算される(3.12名=13名(大学所属機関選出の理事数)×24%)。よって、高校、専門学校、職業会計人の各機関種別の理事割当枠を各1名とする。

この割当枠は、次の選挙(3年後)において、全国大会3期間の通算出席者状況を勘案して再検討するものとする。そのため、各全国大会における所属機関種別の出席状況を「学会ニュース」において公示する。

(2)最低有効得票数について 所属機関種別の最低有効得票数を内規三五(4)では5票と定めているが、大学所属機関選出理事を除く他の3機関種別の理事については、定数を第1回目の選挙においてそれぞれ1名とすることとした結果、当該最低有効得票数5票の制限を適用しないものとする。

(付則)(1)理事枠について

役員改選に当たっての大学、高校、専門学校および職業会計人の各機関種別の理事割当枠は、役員選挙年度の全国大会前の3期間の通算全国大会所属機関種別出席者状況を勘案して決定する。そのため、各全国大会における所属機関種別の出席者状況を「日本簿記学会ニュース」において公示する。

なお、理事割当枠の決定に当たっては、大学以外の所属機関種別の大会出席者が少ない場合には、一定数に満たない各所属機関に理事割当枠1名を与えるものとする。

(2)最低有効得票数について

所属機関種別の最低有効得票数を内規三五(4)では5票と定めているが、一定数に満たない各所属機関に理事割当枠1名を与えるものとした結果、当該最低有効得票数5票の制限を適用しないものとする。

日本簿記学会第18回全国大会記

準備委員長 中野常男
神戸大学

日本簿記学会第18回全国大会は、2002年9月5日(木)・6日(金)・7日(土)の3日間にわたって、神戸大学(準備委員長:中野常男)を当番校として開催され、のべ226名の参加を得た。本大会記では、6・7両日に行われた研究報告を中心に大会を振り返るが、その前に選挙について述べる。本年度は理事改選の年であり、理事選挙の結果、新理事が選出された。また、新会長として戸田博之氏(神戸学院大学)が、新副会長には井原理代氏(香川大学)および森川八洲男氏(明治大学)が選出された。

9月6日は百年記念会館で会員総会および研究報告が行われた。研究部会報告は興津裕康氏(近畿大学)を司会とし、簿記理論研究部会(部会長:佐藤信彦氏(日本大学))の「『その他の包括利益』の簿記処理」、簿記教育研究部会(部会長:柴健次氏(関西大学))の「簿記教育における実践的アプローチの有効性に関する研究」、および簿記実務研究部会(部会長:田後晴司氏(町田経理専門学校))の「コンピューター簿記・会計実務の現状と展望」の各報告が行われ、それぞれの報告の後に質疑応答が行われた。

続く統一論題報告では、座長に土方久氏(西南学院大学)を迎え、「近代会計と複式簿記」を統一論題とする研究報告および用語の確認を主とする質疑応答が行われた。はじめに座長より問題意識が説明された後にそれぞれの研究報告が行われた。報告者と論題は、報告順に橋本武久氏(帝塚山大学)による「17世紀後半のネーデルラント簿記書の歴史的意義について」、工藤栄一郎氏(熊本学園大学)による「17・18世紀英国簿記書における理論とその展開」、原俊雄氏(横浜国立大学)による「アメリカにおける簿記理論の展開 - 19世紀を中心に -」、そして中嶋道靖氏(関西大学)による「原価計算と複式簿記の接合について - 20世紀初頭ドイツにおける原価計算と複式簿記の接合論の分析を通して -」であった。

懇親会は、会場を瀧川記念学術交流会館に移して行われ、神戸の夜景を見下ろしながら歓談した。

翌7日は会場を六甲台学舎に移し、自由論題報告お

および記念講演会、および統一論題討議が行われた。自由論題報告は、会場を2つに分け、それぞれ3つの報告が行われた。論題は、第1会場(司会:藤井秀樹氏(京都大学))が、吉田勝廣氏(秋田経済法科大学)・吉田真友氏(近畿大学大学院)による「簿記会計教育における学習支援システムの開発 - Javaの活用を中心として -」、濱田麗史氏(近畿大学)・鈴木学氏(近畿大学)による「通信教育における簿記教育上の問題点 - 近畿大学通信教育部短期大学商経科を事例にして -」、島本克彦氏(姫路商業高等学校)・岸川公紀氏(鳥栖商業高等学校)による「高校教育における簿記指導上の問題点と課題」、第2会場(司会:倉田幸路氏(立教大学))が、田口聡志氏(慶應義塾大学)による「先物契約に係る会計処理の妥当性を巡って」、石井明氏(東京リサーチインターナショナル)による「リースにおけるオプション会計」、秋葉国利氏(北海学園大学)による「売上原価の直接把握法と間接把握法 - 売上原価対立法と三分法に代えて -」であった。

記念講演会は、新潟産業大学より加藤榮一氏を迎えて開催された。論題は、「初期連合東インド会社(VOC)の《東インド》における簿記システムと平戸オランダ商館の会計帳簿、1602～1641」であり、世界初の近代的株式会社といわれるオランダ東インド会社の簿記処理について講演が行われた。統一論題討議は、あらかじめ提出された会員からの質問に対して報告者が答えるという形を中心として、座長および4名の報告者、さらにフロアの参加者の間で活発な討論が行われた。



2001年9月7日以降、2002年9月5日までに申し込まれ、9月6日開催の理事会で入会が承認された新会員は次のとおりです。

入会会員名簿

(名簿の番号は会員番号)

番号	氏名	所属機関	番号	氏名	所属機関
2002-001	川端保至	同志社大学商学部	2002-034	細谷秋男	全国経理学校協会
2002-002	宮地秀門	国 税 庁	2002-035	広原雄二	上 武 大 学
2002-003	松山一吉	青森県立五戸高等学校	2002-036	手嶋竜二	明治大学経営学部非常勤講師
2002-004	今井芳明	伴野酒造株式会社	2002-037	成松恭平	明治大学非常勤講師
2002-005	佐々木隆志	一橋大学大学院商学研究科	2002-038	大槻晴海	諏訪東京理科大学経営情報学部
2002-006	挽 文子	一橋大学商学部	2002-039	小田康治	岡大学産業経営学部
2002-007	池田宏史	都立晴海総合高等学校	2002-040	鈴木研一	明治大学経営学部
2002-008	岩崎健人	帝京大学経済学部・帝京大学大学院経済学研究科	2002-041	佐々木郁子	東北学院大学経済学部
2002-010	平田利男	税 理 士	2002-043	高木正史	日本文理大学
2002-011	鷲見昭雄	(株)UFJ総合研究所	2002-044	中村寿男	名古屋経済大学経営学部
2002-012	澤登千恵	高松大学経営学部	2002-046	古庄 修	亜細亜大学短期大学部
2002-015	長岡美奈	大原学園大原簿記学校	2002-047	片山直樹	大分県立情報科学高等学校
2002-016	石山 宏	大原学園大原簿記学校	2002-048	藤田晶子	明治学院大学経済学部
2002-017	沖野光二	兵庫大学経済情報学部	2002-049	前川道生	立 教 大 学
2002-018	桜田龍三	大分大学経済学部	2002-050	巽島須賀子	九州情報大学
2002-019	国田清志	専修大学商学部	2002-052	龍 勝博	福岡県立大川高等学校
2002-020	渋谷武夫	専修大学商学部	2002-053	潮崎智美	広島市立大学
2002-021	山岸宏政	上 武 大 学	2002-054	瓶子長幸	専修大学経営学部
2002-022	坂口 博	城西大学経済学部		準会員	
2002-023	上田俊昭	明星大学情報学部	2002-013	古田美保	青山学院大学経営学研究科博士後期課程
2002-024	中嶋道靖	関西大学商学部	2002-014	藤井 誠	青山学院大学経営学研究科博士後期課程
2002-025	加藤英夫	常田会計事務所・税理士	2002-027	許 霽	神戸学院大学経済学研究科博士後期課程
2002-026	辻川尚起	香川大学経済学部	2002-032	渡邊貴士	明治大学大学院
2002-028	井上善文	福岡大学商学部非常勤講師	2002-042	渡辺雅雄	明治大学大学院
2002-029	吉田 勇	福岡県立明善高等学校	2002-045	小野正芳	千葉大学大学院
2002-030	櫻田 譲	山口大学経済学部	2002-051	三木僚祐	明治大学大学院博士後期課程
2002-031	村山徳五郎	東北公益文科大学		賛助会員	
2002-033	橋本 進	宇都宮ビジネス電子専門学校	2002-009	ピーシーエー株式会社	

事務局からのお知らせ

《会費振込のお願い》

本年度(2002年度)の会費を未納の方は、下記宛に早急にお振り込みください。

口座番号 00150-8-178771 加入者名 日本簿記学会

《事務局への問い合わせについて》

事務局への問い合わせについては、下記の連絡事務所にお問い合わせいたします。

連絡事務所

〒101-0021 東京都千代田区外神田5-1-15

(株)白桃書房 内

編集後記

本年9月の日本簿記学会第18回全国大会にて行われ、また役員選挙の結果、戸田博之氏(神戸学院大学)を新会長として、新たな役員体制がスタートいたしました。今回

のニュースに掲載しましたように、理事の諸先生の役割担当を明確にし、より円滑な学会運営を目指してゆくことになりました。幹事一同、微力ではありますが、そのお役に立てるよう努力して参りますので、会員の皆様のご協力のほどお願い申し上げます。

(泉・桑原・高須・千葉・菱山)

発行所
編集兼
発行人

日本簿記学会事務局

連絡事務所

〒101-0021 東京都千代田区外神田5-1-15

株式会社白桃書房

e-mail boki@hakutou.co.jp